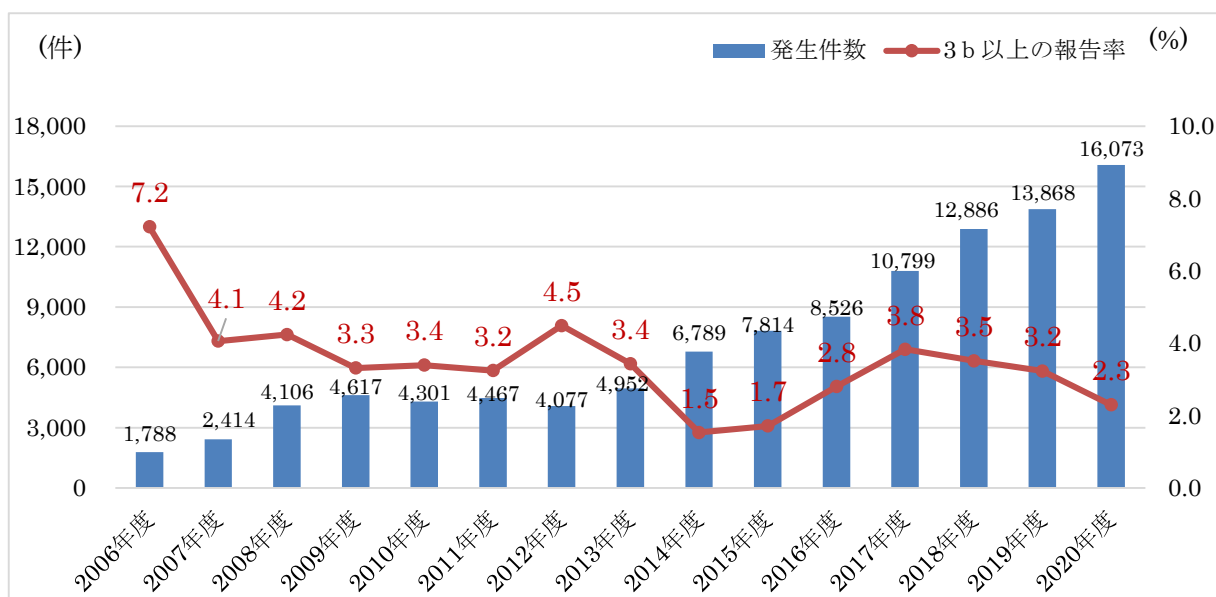


1 3. 安全管理報告数と患者影響度レベル 3b 以上報告率



医療事故とは、医療者の医療行為や医療施設の設備、システムに原因を発生したすべての人身事故一切を言い、医療者・管理者の過失に基づくものだけでなく、合併症や偶発症、不可抗力による場合も含み、患者だけでなく、医療従事者に被害が生じた場合も含まれる。医療に関する場所においては様々なトラブルが発生し得るが、それを患者あるいは被害者への影響の程度に応じて、当院では患者影響度レベルを7段階で判定している。

インシデントとは、患者影響度レベル0から5とクレームを含めたものを指し、レベル0をエラーや医薬品・医療用具の不具合が見られたが患者には実施されなかったものでニアミスと分類、レベル1～レベル3aは害を及ぼさない事象、レベル3b～5を有害事象と分類している。

2020年度の安全管理報告総数は16,073件であり年々増加している。一般に報告総数が病床数の5倍が透明性のおおよその目安と言われていることから、当院は大きく上回っており、報告する文化は定着しつつある。今後も、安全文化を醸成するため職員からのインシデント報告を改善に結びつけ、再発防止に結びつける必要がある。

データ提供 医療の質・安全対策部 安全管理室